

グノー：アヴェ・マリア
Ave Maria/ Gounod

サン＝サーンス：アヴェ・マリア
Ave Maria/ Saint-Saëns

ヘンデル：《リナルド》～私を泣かせてください
Lascia ch' io pianga "Rinaldo" / Handel

ヘンデル：《セメレ》～お眠りよ、なぜ私から去るの？
O sleep, why dost thou leave me? "Semele" / Handel

E.コロン：被爆のマリアに捧げる讃歌
Ave Maria for the Bombed Virgin of Nagasaki / E.colon

サティ：あなたが欲しい
Je te veux/ Satie

レクオーナ：マリア・ラ・オー
Maria la O/ Lecuona

オブラドルス：エル・ヴィート
El Vito/ Obradors

まど・みちお詩、上皇后美智子英訳詩、上田真樹作曲：
「五つの子ども歌」
Five songs based on the Poems
by Michio Mado English translation by Empress Michiko

大島ミチル：My Hometown
My Hometown/ Michiru Oshima

他

ópera latina ERIKA COLON

SOPRANO RECITAL 2020
2020/10/2 金 19:00 | 18:30開場

東京オペラシティ・コンサートホール
19:00 FRIDAY 20TH OCTOBER 2020 TOKYO OPERA CITY CONCERT HALL

国境を越えて
世界の平和と愛を
祈り歌い継ぐ、
唯一無二のDIVA

出演◎

コロン・エリカ (ソプラノ) — Erika Colon (soprano)

長富彩 (1部ピアノ) — Aya Nagatomi (piano)

碓井俊樹 (2部ピアノ) — Toshiki Usui (piano)

石川智 (ドラム) — Satoshi Ishikawa (drum)

オペラ・ラティナ弦楽四重奏団 — opera Latina Quartet

駐日大使・大使夫人コーラス — Ambassadors' Choir

チケット

プレミアムシート (CD 付) 8,000円

S席 5,000円

A席 3,000円

一般発売

2020年2月28日 (金) AM10:00～

プレイガイド

- イープラス <https://eplus.jp/erika-colon/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/erika-colon/>
0570-000-407 (オペレーター対応) [Lコード: 35364]
- CNプレイガイド
<http://www.cnplayguide.com/erika-colon/>
0570-08-9990 (オペレーター対応)
- 東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999 (月曜定休)

オペラ・ラティナ
コロン・エリカ
ソプラノ・リサイタル2020

主催：テレビマンユニオン
協力：キングレコード株式会社
後援：駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
公演に関するお問合せ：Mitt
03-6265-3201 (平日12:00-17:00)
*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
*都合により曲目、曲順などを変更させていただく場合がございます

長富彩 | ピアノ

Aya Nagatomi, piano



東京音楽大学付属高校を特待生で卒業、ハンガリー国立音楽院に学んだ後、米国イリノイ州にて開催したリサイタルが大きな反響を呼び、米国での演奏活動を開始。これまでに日本コロムビア株より3枚のアルバムをリリース。2016年に自身初となるオール・ベートーヴェンの作品集『Aya Nagatomi plays Beethoven』(テレビマシオン)をリリースし、最新盤は2019年2月にタカギクラヴィアよりリリースされたオールショパンの『Aya Nagatomi plays Chopin』(レコード芸術特選盤)。現在、日本各地でのリサイタルに加えオーケストラとの協演、室内楽などの分野において精力的に活動。

コロンえりか | ソプラノ

Erika Colon, Soprano



ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院声楽科修士課程を優秀賞で卒業。同年ウィグモアホールでデビュー。モーツァルト・フェスティバル(ブリュッセル)、宗教音楽祭(フィレンツェ)、日英外交150年記念メサイア(ロンドン)でソリストを務めるなどオラトリオの分野に力を注ぐ。オペラではイタリア、モンテロッソ音楽祭『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ役、『ドン・パスクワレ』ノリーナ役を務めた他、フランス、プリヴァ市バロック音楽祭で『紅の薔薇』タイトルロールのヴィーナスを演じ、ラジオ・フランスで放送される。

2013年には東京シティ・フィル主催の『カルメル会修道女との対話』でコンスタンスを演じ好評を博す。これまでパリ・オペラ座メンバー、国内の主要オーケストラはじめ、キリ・テ・カナワ、ジョーン・バエズなどと共演。コンサート以外では、長野スペシャルオリンピックの開会式曲録音、スポーツ試合でのベネズエラ国歌斉唱、テレビ番組のリポーターなど幅広い分野で活動。

東日本大震災以降、エル・システムジャパンの立ち上げから、東京ホワイトハンドコーラス設立にも携わり、耳の聞こえない子どもを含む様々な障害を持つ子どもたちに音楽を教えている。

2015年、井上道義指揮、野田秀樹演出の全国共同プロジェクト、オペラ『フィガロの結婚』でバルバリーナを好演。ライフワークとして取り組んでいるのは、父エリック・コロンが平和への願いを込めて作曲した「被爆のマリアに捧げる賛歌」の演奏と講演会で、浦上天主堂に於ける初演、CD出版後、世界各地で学校や大学を訪れて長崎からの平和へのメッセージを発信している。4児の母。2019年東京国際声楽コンクールグランプリ部門、ならびに歌曲部門で第1位。

オペラ・ラティーナ弦楽四重奏団

Opera Latina Quartett
 峰谷直人(1st ヴァイオリン) | Naoto Sakiya, 1st violin
 瀧村依里(2nd ヴァイオリン) | Eri Takimura, 2nd violin
 生野正樹(ヴィオラ) | Masaki Shono, viola
 植木昭雄(チェロ) | Akio Ueki, cello

石川智 | ドラムス

Satoshi Ishikawa, drums



東京芸術大学美術学部工芸科卒。異色の経歴を持つパーカッションリスト。大学在学中にブラジル音楽に傾倒。サンバ、ボサノヴァをはじめ、ブラジルのあらゆる地方のリズム、奏法、アンサンブルスタイルをマスターする。この頃からプロとして演奏活動を開始。ブラジル音楽をはじめ世界中のリズムに精通し色彩豊かな音色を操る名手。

碓井俊樹 | ピアノ

Toshiki Usui, piano



東京芸術大学附属音楽高等学校および同大学を経て、ザルツブルク・モーツァルト芸術大学で研鑽を積み、ヴィオッティ国際音楽コンクール入賞、オランダミュージックセクションにてドネムス演奏賞(現代音楽最優秀演奏賞)、ウィーン現代前衛芸術団体TAMAMUより現代芸術特別賞、カンボウ国際音楽コンクール優勝など数多くの受賞歴を誇り、各国の国際音楽祭出演を通じて世界的な演奏家と数多く共演。国内外のオーケストラのソリスト、国際音楽コンクールの審査も務め、ウィーンを拠点に40カ国以上に演奏活動を行ってきた。一般社団法人横浜シンフォニエッタ代表理事、日本香港音楽協会理事(香港)、平成29年度外務大臣表彰受賞、2019年ジョージア共和国シグナキ市名誉市民を受賞、上野学園大学客員教授

latina
KA
ON